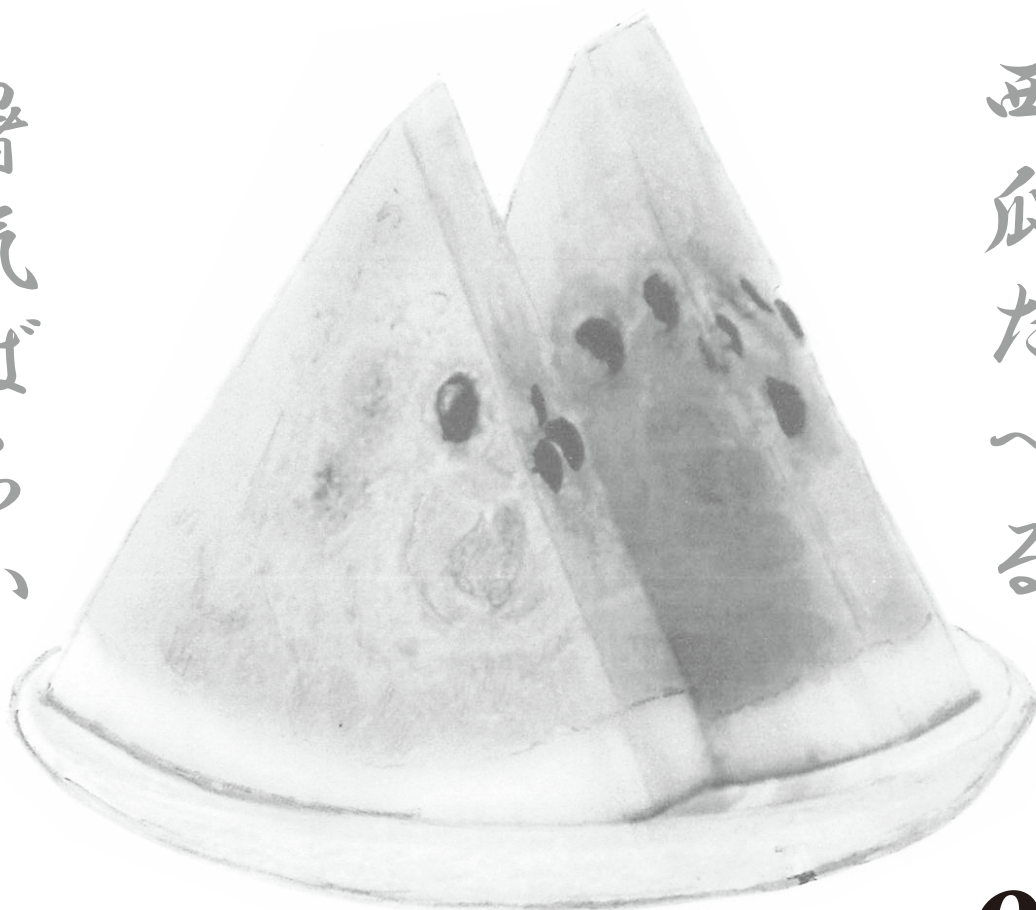


とべとべ

暑
気
ば
ら
い

西
瓜
た
べ
る



No. 95

題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: でんすけどんさん

昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認

HSK 通信番号 640 号 (毎月 10 日発行)

発 行 2025 年 (令和 7 年) 7 月 10 日

編集人 札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74-402

NPO 法人「飛んでけ!車いすの会」

照井 レナ 発行番号第 95 号

電 話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定 価 100 円 (会員は会費に含む)

目 次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-5 平和への想いをのせて
ウクライナ民謡・歌の披露、詩の朗読会
- P6-7 市立札幌清田高校カンボジアボランティア実習で、
車いす届きました!届きました!
- P8-10 今年度の「飛んでけ!車いす」の会
新理事・新監事のご紹介
- P10-11 飛んでけに、新しい仲間がやって来た!
- P12 掲示板 (イベント・お知らせ)

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：48名

ご寄付ありがとうございます

● 個人・団体寄付金

寄付者：31名

● リングプル、アルミ缶ほか

寄付者：15名

● 切手・書き損じ葉書

寄付者：2名

飛んでけ！車いすの会を指定して
寄附すると税額控除が受けられます。

★ 個人の場合：所得税と個人住民税
★ 法人の場合：法人税

控除額の算出方法

(控除対象寄附金の合計額※－2,000円) × 10%
例) 5万円寄附した場合：4,800円の税額控除が受け
られます。(※上限は総所得金額等の30%)

詳しくは記載のQRコードより
さぼーとほっと基金ホームページ
をご覧ください。



札幌市
さぼーとほっと
基金

(順不同、2025年2月16日～2025年6月15日)

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		⑳ シリア	4
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	㉓ フィジー	9
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	㉔ ミクロネシア	12
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	㉕ バヌアツ	6
④ エジプト	2	④ カンボジア	247	㉖ 東ティモール	3
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	㉗ ソロモン諸島	10
⑥ ケニア	27	⑥ インド	25	㉘ サモア	4
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	131	㉙ 台湾	10
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	㉚ パラオ	5
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	㉛ トルクメニスタン	1
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	◆南米・中米・北米地区	
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	① アルゼンチン	16
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	② ボリビア	4
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	③ ブラジル	16
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	33	④ キューバ	24
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	⑤ ドミニカ	5
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	144	⑥ エルサルバドル	57
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑦ ホンジュラス	12
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑧ ジャマイカ	9
㉒ ザンビア	25	㉒ フィリピン	250	⑨ ニカラグア	31
㉓ ジンバブエ	3	㉓ ロシア	10	⑩ ペルー	14
㉔ ナイジェリア	21	㉔ サイパン	2	⑪ セントルシア	1
㉕ エチオピア	5	㉕ シンガポール	25	⑫ ウルグアイ	14
㉖ ルワンダ	4	㉖ スリランカ	80	⑬ パラグアイ	8
㉗ カメルーン	5	㉗ タジキスタン	3	⑭ コスタリカ	8
㉘ ガボン	6	㉘ タイ	471	⑮ チリ	4
㉙ マダガスカル	10	㉙ トルコ	3	⑯ カナダ	2
㉚ ウクライナ	100	㉚ ウズベキスタン	46	⑰ メキシコ	2
◆日本(国内リサイクル)	201	㉛ ベトナム	645	⑱ エクアドル	32

2025年6月15日現在

(網掛け部分は2025年2月16日以降の増加分)

※2020年8月から集計頻度が変更になりました。

これに伴いホームページの台数情報と若干異なる場合がございます。

平和への想いをのせて ウクライナ民謡・歌の披露、詩の朗読会

ウクライナの歌と物語の朗読会を 3 月 20 日札幌市中央区にあるギャラリー土土&土土カフェで開催しました。イベントでは会場いっぱいの 40 人程の方が集まり、ウクライナ民謡「てぶくろ」の朗読から始まり、ウクライナ民謡・歌の披露、詩の朗読、そして質問タイムなどを通じて、ウクライナの文化や歴史、今の想いを知る心温まる交流の場となりました。

◎「てぶくろ」の朗読



ウクライナ民謡「てぶくろ」の朗読では、堀きよ美さん（室蘭市出身の俳優、五月の会代表、オフィス本府所属）西岡裕美子さん（札幌市出身のピアニスト、石山東音楽教室主宰、オフィス本府所属）による日本語とピアノ伴奏での朗読、ベロニカ・クラコワさん（ウクライナ出身、2020 年語学留学で来日、3 年前より札幌在住）によるウクライナ語での朗読が行われました。

◎ ウクライナ民謡・歌の披露

タヤ・バルカロバさん（ウクライナ出身、2022 年 6 月から石狩市在住、今春から札幌大谷大学芸術学部音楽学科に進学）とベロニカ・クラコワさん、西岡裕美子さんによるピアノ伴奏で、ソロ、デュエットで計 8 曲を披露していただき、美しい歌声に会場内は魅了されました。



◎ 詩の朗読

2022 年 2 月に始まったロシアのウクライナへの全面侵攻から 3 ヶ月後に書かれた、パヴロ・ヴィシエババの詩「娘へ」をベロニカさんによるウクライナ語、シンシア・エドワーズさん（当会理事）による英語、堀さんによる日本語で朗読していただき、心のバトンをつなげていただきました。



最後にご参加いただいた皆さま、また準備からイベントにご協力いただいた関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

当日披露された詩を
紹介します

「娘へ」

パブロ・ビシェババ

Тільки не пиши мені про війну,
розкажи, чи є біля тебе сад,
чи ти чуєш коників і цикад,
і чи повзають равлики по в'юну.
Як у тих далеких від нас краях,
називають люди своїх котів?
Те, чого найбільше би я хотів,
щоб не було суму в твоїх рядках.
Чи цвіте там вишня та абрикос?
І якщо подарують тобі букет,
не розкажуй, як бігати від ракет,
розкажи, як добре нам тут жилося.
Запроси в Україну до нас гостей,
всіх, кого зустрінеш на чужині,
ми покажемо кожному по війні,
як ми вдячні за спокій своїх дітей.

To my daughter
Please don't write to me of the war,
Tell me instead of the gardens around,
Do the grasshoppers sing the songs we adore?
Do the snails slowly inch upon sprouts?
Tell me about the words people use
To name their cats in faraway nations.
The only thing I want you to refuse
Is to hide between the lines your frustrations.
Do cherries or apricots bloom near your dwelling?
If they give you a bouquet of flowers,
Don't talk about your escape from the shelling
Tell them we lived here the best life of ours
Let Ukraine become the land to explore,
Invite foreign friends and every person you meet.
We will show everybody after the war
How grateful we are for our children's peace.

お父さんあての手紙には、戦争のことは書かないで、
その代わりに近くのお庭の話を書いて、
バッタは大好きだったあの歌を歌っているかい？
カタツムリは若葉のうえをゆっくりと這っているかい？
遠い国に住む人たちは、
猫にどんな名前をつけているのか教えて。
ただひとつお願いがあるんだ
手紙を書くときに悲しみを隠さないで。
君が住む家のそばで桜やあんずの花は咲いているかい？
もし誰かが花束をくれたなら、
砲撃から逃げた話などしないでほしい
戦争前、この国で過ごした最高の幸せを伝えておくれ、
ウクライナがぜひ行ってみたい美しい国になることを話して。
外国のお友だちや出会うすべての人を、この国に招こう。
戦争が終わったあと、世界中の人々に伝えよう。

市立札幌清田高校カンボジアボランティア



市立札幌清田高校ではかねてより、隔年でオーストラリア語学研修とカンボジア・ボランティア実習に取り組んでいます。

今年は、そのカンボジア・ボランティア研修の年に当たる年。1月5日～10日の予定で31名の生徒さんと教師2名の計33名がカンボジアに出発したのですが、その際カンボジアの障がいを抱えた方々に車いすを持参していただけたという、とても嬉しいお申し出がありました。

「飛んでけ！車いす」の会では障がいを抱えた方一人一人の身体に合わせて修理・整備をした車いすをお届けしていますが、なんと修理の段階から参加したいとさらに嬉しいお申し出をいただきました。



カンボジアでは8人の障がい者の方々が車いすの到着を心待ちにしておりました。

NGO Japan-Asia Network Cambodia の方々が渡りの段取りをしてくださり、清田高校の生徒皆さんから障がい者の方々に直接車いすをお渡することができました。

カンボジアの皆さんからは「札幌清田高校の生方や生徒の皆さまが車いすを運んでくださること、名鉄観光札幌支店の皆さまが手配してくださったことで障がい者の方々が車いすを受け取ることができました。心から感謝申し上げます。」感謝と喜びのお礼状が届きました。

清田高校の皆さんには現地ではいろいろな予が詰まっている中、これらの活動を入れていただきました。本当に大変だったことと思います。車いすを受け取られた障がい者の方々の嬉しい笑顔に触れ高校生の皆さんは何を感じ、この取り組みをどう思われたのでしょうか？

これから歩む道に今回の経験が少しでも生かれましたら、嬉しいです。

ボランティア実習で、車いす届きました！届けました！

清田高校の生徒の皆さんの声

- ◆ 私は直接車いすを運んだわけではありませんが、日本から車いすを運ぶことで、現地で多くの人々の人生が変わること、そしてまだまだ支援を必要とする方がたくさんいることを実感しました。この活動がもっと多くの人々に広まり、支援を必要とする方々に届くといいなと思いました。
- ◆ この会に参加しなければ、カンボジアに車いすのことで困っている人がたくさんいることを知る機会はなかったと思うので、実際に会って渡すことができて本当に良かった。
- ◆ 車いす譲渡をみて保護者や車椅子を受け取った方を見て、改めてこの活動があつてよかったなと思ったし、今回は参加しなかったけど、このようなボランティア活動にたくさん参加して行きたいと思いました。
- ◆ 今回、実際に届ける車いすの修復のボランティアから参加し、カンボジアで車いすを届けたので、修復されるボランティアの方々の思いがカンボジアで車いすを必要としている人に実際に届き、自分が関わった活動で現地の人に喜んでもらうことができ、この活動に参加して良かったなと思いました。
- ◆ なんの根拠もなく、譲渡するのは大人の方だけだと思い込んでいましたが、私が渡した車いすは小さな女の子の手に渡っていて、子どもも巻き込まれてしまっていることを知りました。ボランティア活動をした事はありませんでしたが、自分が直接車いすを渡すことで、貢献出来たと思えて嬉しかったです。
- ◆ このボランティアをするまで、ネット上でボラインディアをしてもそれが実際に現地の人達に届けられているのかわからなかったから、実際に届けたことで実感することが出来たし、実際にその方たちの表情を見ることが出来てとても嬉しかった。
- ◆ 車いすは必要ない人もいるけど実際に必要な人がいて、それを手に入れられない現状があることを知った。車いすを渡して喜ぶ人がいるので、それ以外にも助けられることは積極的に行っていきたい。
- ◆ 実際にカンボジアの人に車いすを渡した時、全員すごく喜んでいて、嬉しかったです。日本とカンボジアの架け橋になれて嬉しかったです！



カンボジアボランティア実習ののちに清田高校で催された“ゲーム祭”。
全クラス分の売上金 83,845 円を、生徒さん達が話し合いをして、飛んでけ！への
寄付に決めてくださいました。本当にうれしい、うれしい応援です！
ありがとうございました。大事に使わせていただきますね。

今年度の飛んでけ！車いす

2025 年度予算は、総事業費 3,445,000 円を計上しております。

事業としては、海外のエンドユーザーへの寄贈はもちろんのこと、「車いすのリユースに活動促進に向けた連携協定（札幌市）」などにより寄付された車いすを、町内会・商店街・その他団体に、災害用車いすとして寄付する活動を進めていきます。また、JICA の草の根技術支援事業への申請のチャンスがもう 1 回あることから、対象国をモンゴルとして調査し、申請を検討します。

また、今期は役員改選があり、新たな理事・監事を迎えました。

皆様からの御協力、御鞭撻をいただきながら、新たな活動と共に、飛んでけ！車いすは更なる活動の充実、発展を目指していきます。



新理事・新監事のご紹介



新理事
松澤 文夫さん

64歳で会社を辞め、その頃は世間では認知症という言葉が全盛でしたが、私は福祉・介護関係が全くわからなかったので勉強しなければと思って、江別の社会福祉協議会の個人ボランティアに応募しました。施設の行事や、目の見えない方の買い物の手伝い、いろいろやってるうちに社協に頻繁に出入りするようになり、玄関先に「故障」の張紙のある車いすが目立つことに気づきました。職員に聞いたら、年に一度、整備してもらおうというお話だったんです。ただ、全然間に合っていないということで、私が直そうか？どこで教えてくれるのかな？と見つけたのが本会でした。2019年の7月から参加し、車いすの学校の受講生でなく、最初からボランティアとして整備に取り掛かることになりました。半年後の12月に、江別で最初の1台を整備することができました。それがずっと継続して今になっております。今現在、437台の整備を完了。なんとか1,000に到達したいので、あと7年ぐらいかかるかなと思います。生きてるかどうかはお釈迦様に聞いてください。



初めまして。私は75歳で会社をリタイアし、その頃から、私ができることで世のため人のために何かできないかなということを常々考えていました。その時に本会の話がありまして、入会をさせていただきました。最初は何もわからなかったんですけども、先輩達にいろいろ教わって現在に至っております。なんとか今は整備を一人でできるまでなっておりますが、まだまだ一人前とは行かない、ちょうど半人前というところでしょうかね。私のモットーは、自分のできること何か世の中に貢献したいということです。これからも身体の続く限りやっていきたいと思います。

理事としては、最初の一年ぐらいはいろいろお聞きしながら、組織自体もわかりませんので、その理解から始め、最終的にはある程度、わかりやすい組織にしていければと思っています。



新理事
中西 重敏さん



新監事 **松岡 寛樹さん**

はじめまして。区役所で見かけた「車いすの学校」のフライヤーをきっかけに参加し、整備方法を学んできました。現在は整備班として細々と活動するとともに、車いすの集荷や海外に届ける車いすの選定などに携わっています。監事という立場は初めてですが、活動を陰から支える役割を真摯に務め、微力ながら団体の健全な運営に貢献してまいります。よろしくお願いいたします。



はじめまして！ケニーです。北海道の食材を海外に届ける仕事をしています。好きな寿司ネタはホタテです。飛んでけ歴は10年ぐらいになります！よろしくお願いいたします。

新監事 **辻 健蔵さん**



コーディネーター・整備ボランティア



コーディネーター
千葉杏月芭さん

この度、飛んでけでコーディネーターのボランティアをさせて頂くことになりました、千葉杏月芭です。これで「あげは」と読みます！

2006 年生まれ 19 歳の大学生です！早生まれなので今年成人式があつて、何を着ようかまだ悩んでいます笑

飛んでけは、高校生の頃 NPO インターンシップという企画で少しボランティアをさせて頂いたのですが、数年ぶりに本格的にボランティアとして関わることが出来てとても嬉しく思います！

趣味は音楽を聴くことと、映画を見ることです！最近「国宝」を映画館に行きました。今年はたくさん映画館に行けたらいいなと思っています。そして、人と話すのも大好きです！英語もたくさんの人と話したり、新しいことを知るのが楽しくて学び続けています！この間も、アメリカの高校生と夜ご飯を食べ、札幌を少し案内するボランティアをしてきました。自分より若い人たちと英語で話す経験はなかったのですごく刺激的でした！

今福祉の学校に通ってはいますが、まだまだ知らないことばかりだし、英語も使う場面が減ってだめだめですが、飛んでけの活動を通していろんな人と出会ってたくさん学んで行ければいいなと思っています！これからよろしくお願いします！



コーディネーター
青木菜摘さん

新人の青木菜摘です。

車いすを利用している子どもたちに関わる仕事をしています。

車いすを必要としている方々のニーズに合わせた車いすを届けられるよう微力ながらお手伝いさせていただきます。

よろしくお願いします！

い仲間がやって来た！



事務局ボランティア 加藤 玲さん

今年 73 歳まで人生を形作ってきました。アッと気がついてみると最終コーナーを回っている自分がいます。小学校時代に失敗したバスの絵が先生に褒められ、以降、美術が得意になりました。楽譜も読めないのにブラスバンド部に入り、高校では山岳部に入れられピクニック気分で山行きを敢行、先輩にしごかれ。大学はヘルメットをかぶり小脇に図面を抱えた設計家を夢見て建築を学び、大学院では住宅の需給構造を研究するも、自分の住宅取得へはこの研究が反映できず。20 年間学生で机に向かいましたが、今思えば「ちょっと待てよ？」とブレブレの学生時代でした。

その後、研究所、学校を経て中小企業の経営支援の団体に勤務しました。工学部で当たり前に思っていたコンマ何ぼの数値の扱いが、企業経営の決算書では百円未満切り捨て、土俵の違いに頭が混乱。しかし、このアバウトさが、実態経営や社会の姿であることに気づかされ、所詮がアバウトな人間である自分自身が、この世界に慣れるのには大して時間がかかりませんでした。

さて自分自身の「飛んでけ」です。その飛んで行った先はモンゴルです。在職中に、JICA のモンゴル日本センタービジネスコースに短期専門家として 2005 年から参加しました。今から 20 年前ですが、その頃、1990 年に民主化を果たしたモンゴルは、社会主義から民主主義へ移行の中で混乱期でもありました。石炭を燃やした空気臭が漂う街中、山の斜面にびっしりと張り付くゲル、混乱の中で不遇を買うマンホールチルドレン達。全体的にはまだソビエトの影響が色濃く残っていた時期でした。

- ・外見上は日本人と変わらないモンゴルでは、違和感なく環境になじむ自分がいる
- ・街中がプリウスだらけのモンゴル。大渋滞や駐車スペースが少ないためか高度な運転技術を駆使する姿にびっくり
- ・モンゴルへ来たならモンゴルらしい料理を所望し、出てきた羊の頭に食欲減退。下戸の私は子供でも飲む馬乳酒を飲んで酔っ払い、今では日本食でも何でもあって寿司も日本と同じく回っています

驚きのモンゴル。まだまだいろいろなことがありました。

あれから 20 年。モンゴルは今や草原のイメージだけでは語れない発展を遂げています。その変貌を実感するのが飛行機の窓から見るウランバートルの街の光です。以前であれば淡いオレンジ色の電光色であったものが、今では白っぽい昼光色へと変わり、街の彩りを近代的に変え、華やかに見ることができます。

飛んでけの活動がこの街の光と同じく、モンゴルの近代化への絆となることを願うばかりです。

個性的で頼もしいニューフェイスの皆さんが新たに加わった飛んでけ！車いす。イベント会場、その他の場所で皆さんとお会いする機会があるかもしれません。そんなときは、ぜひお気軽にお声掛けください。

私たち飛んでけ！車いすは新しく生まれ変わりながら、どんどん車いすを国内外に「飛ばして、行くので、変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします！

「飛んだけ」サポーターのご案内

●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5,000円/年
	学生	1,000円/年
■賛助会員	一般	2,000円/年
	団体	5,000円/年

●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。



●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方をご協力ください。

●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・商品券(QUOカード等)を集めています。

●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461

【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

掲 示 板

お知らせ

- ▶ 25周年事業「お助け!車いす」
札幌市民からいただいた車いすを丁寧に整備清掃し、団体さま向けに主に災害用車いすとして寄贈しております。
車いすをご希望の団体さまは以下の URL または QR コードからお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S672356912/>



- ▶ 車いすの学校 受講生募集中
毎月第2・第4土曜日 13:30～
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。

- ▶ ボランティア募集中
車いす整備ボラ(シニアの方大歓迎)、コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、会報編集ボラ、事務作業ボラ

- Web版会報
会の活動を広く知っていただくため会報『とべとべ』をホームページで公開しています。
表紙画像をクリックするとPDF版がダウンロード可能です。
<https://tondeke.org/tobetobeforweb>



問い合わせ

「飛んだけ!車いす」の会 事務局(担当:照井・小林)
(事務局は基本的に火曜日と第5を除く土曜日の午後のみ開設)
電話/FAX 011-215-8824
メール: tondeke@bz01.plala.or.jp